

### Ⅲ 事業内容

#### ■若年者地域連携事業（ジュニア・インターンシップ）

厚生労働省委託事業として、ジュニア・インターンシッププログラムの推進をおこなった。ジュニア・インターンシップ事業周知・啓発とガイドブックの作成（学生の受け入れ先組織300団体）及び2006年度版の全高校配布を目標とし、県内各種団体に協力を仰ぎ、ハローワーク学卒担当者との連携及び就職面接会で、受け入れ協力依頼を2,000箇所以上におこない、周知啓発した結果344事業所の受け入れ表明があり、ガイドブックを2006年3月に発行し、県内高校及び公共職業安定所に配布した。教育現場におけるキャリア教育で、就業体験の必要性は高く、今後対象が中学校まで、拡大する中で、受け入れ先の確保が重要となる。



#### ■若年者地域連携事業（キャリア探索プログラム）

厚生労働省委託事業として、キャリア探索プログラムの推進をおこなった。キャリア探索プログラムの周知・啓発と講師リスト作成(200人のリスト)とマッチング（講演会実施件数）100人を目標とした。中学・高校に対し、キャリア探索プログラム開催の周知、啓発活動を行い、キャリア講師の候補者に対し、登録を依頼し、登録の意向のあった208名の講師を登録者リストに載せ、一覧表を作成後、県内中学校、高校へ配布した。また、マッチングについては、中学・高校から講師派遣の依頼があり、ハローワーク・学校と連絡をとりながら講師を派遣した。

#### ■勤労者マルチライフ支援事業

1期(2001年5月～2004年3月)、2期(2004年4月～2006年3月)とわたって実施されてきた勤労者マルチライフ支援事業は2005年度末をもって委託終了となった。2005年度はいくつかの市町村社協で、本事業の趣旨に沿った独自の企画を立てたり、こちらの協力要請に戸惑いなく応じてもらえたりするといったことが見受けられた。本事業の趣旨が県内に根付いた証拠ではないかと思う。

1. 経営者協会会員・NPO法人・各市町村社協・一般勤労者などへの広報 延べ68,700部
2. ① ボランティア受け入れ団体（NPO等）のニーズ調査（約430団体へ依頼、47団体から回答）② 体験プログラム（わくわく科学実験教室、高齢者疑似体験、子どもの見守り活動講演会など）延べ参加者約880名
3. さわやか福祉財団・長野事務局運営ウェブサイト 各々への情報掲載
4. ①企業の社会貢献事例集の作成（経営者協会会員約680団体へ調査依頼、約130事例回収）2月2,500部発行 送付先：地方事務所市町村担当課、労働組合、県内NPO法人、経営者協会会員、市町村社協、NPOセンター会員  
 ②NPOと企業との情報交換会（2回）参加者合計約50名；信州発ボランティア地域活動フォーラムの分科会設営 参加者18名  
 ③ 企業・勤労者向け講演会の開催（5回）延べ参加者約190名；企業訪問 42箇所



5. ワンモアライフ顕彰事業（経営者協会会員、NPO 法人、市町村社協などへ広報、表彰 3 部門へ計 9 件の応募）
6. その他、毎月の 3 者による事務局会議開催；全国 PM 会議（3 回）；長野県推進地域協議会の開催（2 回）

### ■民間活用委託訓練事業

厚生労働省の管轄する公共職業訓練として、全国的なモデルとしてNPO 委託訓練事業を受託して4年となり、今年度は8月に実施した。この訓練コースは「NPO についての経験、興味」が全くない方も含む、求職中の方々を対象として就業を目的として行われる。しかし、過去3年間の反省から実際に起業する人を輩出することは難しい状況のため、ゴールを幅広くとらえたカリキュラムとした。

#### [講座の概要]

NPO 起業養成科

期間2005年8月2日～2005年10月31日

訓練時間 3ヵ月間 平日午前9時30分  
～午後4時

カリキュラムの特色

座学に加えて運営演習、経営演習、事業運営シミュレーション・ワークショップの3つを行い、最終プレゼンテーションによる報告を行う。

受講生数 19人 17人修了。



### ■越境しようよ！プログラム

外国籍県民の方との直接対話重ねることで、トランスカルチャー（融合文化）を醸成し、共生への道筋を見定めていくことも大切な課題の一つ。そこで、こうした直接対話の場を設け、意見交換や議論を通じて外国籍県民の方と知り合い、相互理解を深めるとともに、議論等の内容を成果物としてとりまとめ、一般県民の理解促進に寄与する。

外国籍県民と、一般県民（今回は特に若年者層：高校生・大学生・社会人などの若者）とのディスカッションを7回に渡り企画・運営。外国籍県民をコーディネーター、プレゼンターとして、身近なテーマについて英語で話題提供してもらい、それを起点として議論を進め、意見や考えを交わし合いながら、相互に理解を深めた。最後に一連のディスカッションを報告書として取りまとめ、出席者を始め、県内の行政や学校に配布した。

- 第1回 9月24日(土) 15:00-18:00 13名  
プレゼンター中国系アメリカ人「アイデンティティとは。見た目による偏見」
- 第2回 10月15日(土) 16:00-19:00 20名  
タイ出身者・カウンセラー「移住の理由・背景と抱える問題」
- 第3回 10月29日(土) 16:00-19:00 13名  
アラスカ出身「少数派居住者の存在と日本社会の背景にある多国籍文化」
- 第4回 11月26日(土) 15:00-18:00 18名  
南アフリカ共和国出身「貧困と消費者先行型社会の盲点」



- 第5回 12月10日(土) 15:00-18:00 8名  
カナダ出身者・大学講師「日本の英語教育改革」
- 第6回 1月14日(土) 15:00-18:00 9名  
ウズベキスタン出身「外国人労働者のかかえる問題」
- 最終回 2月11日(土) 14:00-18:00 10名  
コーディネータを囲んで「ワークショップの成果と今後について」

★報告書作成のため、ミーティングを5回に渡って開催。レギュラーメンバー約6名が集まり、原稿書き、レイアウトなどを話し合い、製作。アンケート調査も行い、参加者やプレゼンターからの感想も掲載した。

■長野市受託事業（長野市市民公益活動センター管理・運営事業）

様々な分野のNPOやボランティア、市民活動団体等の非営利・公益的な活動を総合的に支援する拠点づくりをめざし、管理・運営にあたった。

実施プログラムおよびスケジュールは以下の通り。

2005年度市民公益活動センター主催イベント一覧表

イベント名	日時	場所	講師名等	人数
1 NPO初歩講座第1弾「NPOってなあに？」	7/10(日)	304	田上真里	15
2 NPO初歩講座第1弾「NPOってなあに？」	7/13(水)	302	吉田孝朗(N長野県NPOセンタースタッフ)	18
3 NPO初歩講座第2弾「みんなどんなことしてるの」	8/4(木)	303	NPO事例発表(NマザーポートITながの/歴史の町長野を紡ぐ会)	7
4 NPO初歩講座第2弾「みんなどんなことしてるの」	8/24(水)	303	NPO事例発表(Nみどりの市民/保育サポーターMILK)	7
5 NPO初歩講座第3弾「やってみよう! NPO」	9/3(木)	303	大脇正昭	16
6 NPO初歩講座第3弾「やってみよう! NPO」	9/14(水)	303	大脇正昭	6
7 NPO初歩講座第1弾「NPOってなあに？」	10/6(木)	303	田上真里	7
8 NPO初歩講座第1弾「NPOってなあに？」	10/14(水)	303	田上真里	5
9 NPO初歩講座第2弾「みんなどんなことしてるの」	11/7(月)	303	NPO事例発表(Nライフデザインセンター/ミントネット)	16
10 NPO初歩講座第3弾「やってみよう! NPO」	12/3(土)	302	大脇正昭	6
11 NPO初歩講座第3弾「やってみよう! NPO」	12/14(水)	302	大脇正昭	6
12 NPO初歩講座第1弾「NPOってなあに？」	1/14(土)	303	田上真里	12
13 NPO初歩講座第2弾「みんなどんなことしてるの」	2/9(木)	302	NPO事例発表(N長野音楽療法研究会/山新田地区活性化プロジェクト)	14
14 NPO初歩講座第3弾「やってみよう! NPO」	3/8(水)	303	大脇正昭	9
15 NPOパワーアップ講座(法人設立編)	9/27(火)	302	菅沼 浩行氏(長野県NPO活動推進室)	15
16 NPOパワーアップ講座(IT活用編~エクセル~)	10/22(土)	301	中島 直美氏(NマザーポートITながの)	11
17 NPOパワーアップ講座 (インターネット活用編~ブログ/ソーシャル・ ネットワーキング/グループウェア~)	12/3(土)	301	阿部今日子:ブログ/竹前成知:ソーシャル・ネットワーキング ・サービス/大脇正昭:グループウェア	22
18 NPOパワーアップ講座(会則作成編)	1/27(金)	303	大脇正昭	7
19 NPOパワーアップ講座(NPO会計編)	2/12(日)	304	鈴木 秀一氏 (税理士・鈴木会計事務所・NPO法人環境福祉事業評価センター)	14
20 NPOパワーアップ講座(チラシ作成編-1)	3/5(日)	301	中島 直美氏(NマザーポートITながの)	6
21 NPOパワーアップ講座(チラシ作成編-2)	3/12(日)	301	中島 直美氏(NマザーポートITながの)	7
22 協働パートナーシップサロン	10/3(月)	304	市民公益活動団体と長野市職員(協働推進員)	33
※N=NPO法人			参加人数累計(実施19回)	259

23 まちづくり創造フォーラム	11/19(土)	3F全体	延べ人数(環境共生/NPO共生/異文化共生/交流各ゾーン &国際交流コーナー)	約	500 (人)
-----------------	----------	------	--	---	------------

## ■NPO会計サポート事業（NPO会計専門家委員会）

### 1. 消費税セミナー

定員30名のうち22名参加。会計専門家委員の小林将徳税理士講師はNPOにわかり易い表現で専門用語を解説し、テキストもわかり易い書式で作成され参加者からは好評をいただいた。

### 2. 決算セミナー

長野市、上田市、松本市の3会場で開催。定員60名のうち57名の参加。会計専門家委員の講師は長野会場が高橋佐智子会計士補、上田会場が矢野実税理士、松本会場が上原明子税理士。3名の講師はNPOにわかり易い表現でポイントをおさえた解説で進化した。

いずれもセミナー後のアンケート集計では今後も定期的な開催を希望するとの大きな期待を寄せられた。

### 3. NPO会計まるごとガイドブック

ガイドブックへのニーズが高く緊急会議を開催した。執筆にご尽力いただいた専門家と事務局である当方が現状など報告した会議である。決算を迎えるNPO法人からの問い合わせが日々、全国から殺到している現状と即効性をもった対応について検討した結果早急な増刷を実施。しかし制度改正などへの対応が遅れる点が課題として残った。この課題については2006年度早急な対応を実施していく。

開催時期	内容	場所	講師
2月	消費税セミナー	松本市	小林将徳氏
3月末	年度末会計セミナー	長野市	高橋佐智子氏
3月末	年度末会計セミナー	松本市	上原明子氏
3月末	年度末会計セミナー	上田市	矢野 実氏

## ■NPOインキュベータオフィス運営

インキュベータのあり方を見直すプログラムはすべてが保留となったが、インキュベータ団体との協働が現実化した。NPO夢バンクとの連携である。融資後の団体の組織運営へのサポート、融資希望団体からの相談業務などは特に充実した。NPOへの融資が難しい金融機関の融資と大きく異なる仕組みをもつ夢バンクのミッション、および当方のミッションが合致する部分も大きくあり、役割分担が明確であった点が大きな成果につながった。年度後半から協働で事前相談に応ずることをスタートさせ7件の相談に応じた。うち4件は当方独自のコンサルティング業務をおこなった。

4件（有料2件・無料2件）のコンサルティング内容

- 1、NPO法人申請コンサルティング（融資前のコンサルティング）2件（2時間/8.5時間）
- 2、NPO法人運営コンサルティング（融資後のコンサルティング）1件（37時間）
- 3、運営コンサルティング（融資前のコンサルティング）1件（1時間）

夢バンクの融資審査会へのオブザーバ参加は当方の役割についてじっくり検討する体験となった。今後は他入居団体との協働について検討したい。

## ■資料・書籍販売

- ・ 在庫管理・入金管理システムの見直し（4月－8月）
- ・ 会計ガイドブックの増刷の検討(5－6月)
- ・ ウータ、HPなどへの書籍紹介(5月から随時)
- ・ イベントでの書籍ブースの設置販売(民ボラなど)
- ・ 相談者や講座受講者への積極的な営業販売(随時)
- ・ 書籍・FDなどの購入者へのチラシ同封(4月から随時)
- ・ 他の事業での書類発送時に書籍案内の同封(随時)
- ・ 販促用ツール(チラシ・HP・プレスリリース・書籍紹介パンフなど)の開発(4月から随時)

## ■企業との協働

委託事業や自主事業で企業と関係を持つ中で、NPOの存在をアピールし、若年者地域連携事業、勤労者マルチライフ支援事業、Uhta 編集発行事業で、企業の情報を共有しながら連携をはかる。

### 1. Uhta 「社会貢献」連載

第34号 「企業の社会的責任とは」なぜ企業は、社会貢献をしようとしているのか

第35号 「CSRを学ぼうの会 講師 大阪ボランティア協会 早瀬昇」に参加して

第36号 「企業の常識を探る！」(株)セイコーエプソン訪問

第37号 「信頼経営を目指して」長野県経営者協会訪問

第38号 「地域における企業の責任とは」(株)八光訪問

### 2. 企業訪問 (若年者事業、勤労者マルチライフ支援事業、Uhta 編集発行事業で随時)

訪問時に、パンフレット及びUtah 等によるセンター活動のPR

### 3. 企業とNPOの情報交換会 (勤労者マルチライフ支援事業)

開催日：9月13日(火) 松本大手公民館 9月26日(月) 上田商工会議所会議室

内容：セミナー「地域共生プロデュース」とは

体験ゲームによるワークショップ「地域参加への気づき・きっかけづくり・環境作り」  
社内と地域の環境について

講師：さわやか福祉財団 勤労者マルチライフ支援センター 奈良 環 氏

参加団体：アクサ生命保険／サンシャインスポーツ／GAC／セイコーエプソン／ソニー生命保険／鍋林／南信日立／松本土建／エーシーエ設計／シナノケンシ／東京電力千曲川電力所／長野バスターミナル／エリアネット更埴／お仕事チーム／資源循環システム開発センター／信州未来広場／根っこの会／のんびり／あづみのファミリーハウス／夢バンク／グループHIYOKO／グループもみじ／シニアのための財産と生活を守る会／情報ネットワーク・自然所／長野サマライズ・センター／松本市政策課市民協働推進担当係／アルウインスポーツプロジェクト／アルプスフロント市民フォーラム／松本市社会福祉協議会／山形村障害者相談センター上田市市民生活部市民協働課／うえだ百勇士委員会／上田市社会福祉協議会／特別養護老人ホーム やすらぎの園／長野県生活環境部生活文化課 NPO 活動推進室

(松本、上田両会場で以上 35団体参加)

#### 4. 国内企業のCSR報告書収集(103社)

#### 5. NPO支援財団研究会主催シンポジウム共催(損保ジャパン記念財団)開催

開催日: 11月5日(土) JA長野県ビル12F大会議室

内容: テーマ「地域社会の活性化と助成財団の役割」

基調講演「創造的な市民活動を支える資金源とは？」

講師: 法政大学現代福祉学部教授/日本NPOセンター副代表理事 山岡義典 氏

パネルディスカッション「地域社会の活性化と助成財団の役割」

パネリスト: 夢空間松代のまちと心を育てる会 事務局長 香山篤美 氏

ケアタウン浅間温泉 理事長 水澤勇一 氏

助成財団センター 専務理事 堀内生太郎 氏

長野市地域振興課 係長 中澤和彦 氏

参加者: 約90名

#### ■相談業務

NPO法人格取得サポートをベースに「組織運営」「経営」「会計サポート」「労務サポート」「人材育成」などをオプションとした相談メニューの定着、実施を目指す。蓄積されている相談内容を整理してFAQ化する。来訪者相談件数合計103件/電話相談80件以上/出張相談4件

#### ■ウータ編集・制作

2005年6月10日 34号 500部発行 巻頭「危機を読む視座」(高橋) 特集「新事務局紹介」

2005年8月5日 35号 500部発行 巻頭「融合文化とは」(寺澤)  
特集「NPOの現在・過去・未来」

2005年9月末 36号 700部発行 巻頭「NPO→非営利の勘違い」(市川荘一)  
特集「情報公開と個人情報保護」

2005年12月末 37号 700部発行 特集 NPOの資金資金獲得の道を探る!

#### ■講師(審査員)派遣事業

「国際協力機構駒ヶ根ジャイカ」(駒ヶ根市) / 「長野市市民公益活動団体協働推進員研修」(長野市) / 「生涯学習 一般教養コース」(丸子町) / 「NPO会計支援の現状と展望」(大阪市) / 「ながのまちづくり活動助成審査員」(長野市) / 「NPO事業推進委員会」(東京都) / 「上田染谷丘高校」(小諸市) / 「助成金審査委員会」(長野市) / 「関東信越税理士会」(長野市) / 「労協ながの」(上田市) / 「松本市市民活動サポートセンター」(松本市内)

#### ■セミナー開催・スタッフ研修事業

NPO関係者の総合的なネットワークを目的にセミナー、講演会などを企画してNPOが活動しやすい土壌づくりを行う。と共に、スタッフの研修の場としても有意義な機会とする。

2005年6月18日 高橋卓志講演会「ボランティアズムを問う」

- 2005年6月18・19日 第23回全国民間ボランティア市民活動推進者企画戦略会議  
2005年6月19日 赤塚和俊講演会「今、改めて見直す！NPOの現在・過去・未来」  
2005年8月20・21日 全国NPOフォーラム2005北陸信越会議